

社会人

AI+IoT組み込みシステムエキスパート養成講座

AI、画像処理、IoTの要素技術について大学で学んでみませんか？

令和2年度
秋季募集

▶ こんな方に

四国内の企業や行政にお勤めの方、情報技術関連の実務者、情報技術導入に関わる管理者、など

▶ 目的

コンピュータ工学や組み込みシステム開発の基礎を学習し、AI+IoT組み込みシステムの要素技術(画像処理・理解、知的システム、ディペンダブルシステム)を実習・グループワークを通して学びます。

▶ 科目

座学・演習 : 組み込みシステム開発基礎/AI基礎/画像処理基礎(12時間)

グループワーク : 課題設定・要求仕様策定(6時間)、組み込みシステム開発実習(6時間)
AI+IoT環境における組み込みシステム開発演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ(36時間)

▶ 会場

愛媛大学工学部4号館506号室

▶ 履修期間

令和2年11月～令和3年3月

▶ 募集人数

10名

▶ 受講料

200,000円

▶ 申込方法

以下のホームページからダウンロードできる「募集要項」を参照してください。

締め切り:平成2年10月30日(金) (必着)

http://enpitemb.cs.ehime-u.ac.jp/?page_id=241

お問合せ先

愛媛大学大学院理工学研究科 教授 高橋 寛

E-mail: enpitemb@cs.ehime-u.ac.jp

令和 2 年度

AI+IoT 組込みシステムエキスパート養成講座

募集要項

令和 2 年 8 月 1 日

主催 愛媛大学理工学研究科、
愛媛大学社会連携推進機構組込みシステム・人工知能・言語処理検討部会、
enPiT-Pro 組込みシステム分野担当教員（情報工学科）

AI+IoT 組込みシステムエキスパート養成講座の概要

目的

Society 5.0 および第4次産業革命の実現のためには、人工知能(AI)と Internet of Things (IoT)環境における「つながるデバイス」の社会的な普及が必要不可欠である。本履修証明プログラムは、コンピュータ工学の基礎から組込みシステム開発の基礎を学ぶこと、グループ開発の基礎を学ぶこと、および AI+IoT 組込みシステムの要素技術(画像処理・理解、知的システム、ディペンダブルシステム)の実習により、コンピュータ工学の基礎を理解し、IoT 環境において知的な組込みシステムの開発ができる人材、またはその導入の際の計画立案ができる人材を育成することを目的とする。

期間

令和2年11月～令和3年3月の週末(土日)に開講

科目

授業総時間は合計として60時間となる。本講座で開講する科目は以下の通りである。

・基礎(選択必修科目)

組込みシステム開発基礎(12時間)

AI基礎(12時間)

画像処理基礎(12時間)

※下記の修了要件を満足するために、3科目(組込みシステム開発基礎、AI基礎、画像処理基礎)のうち1科目以上を受講すること。

・グループ演習(必修科目)

グループ演習Ⅰ 小集団活動:課題設定・要求仕様策定(6時間)

グループ演習Ⅱ AI+IoT環境における組込みシステム開発実習(6時間)

・開発演習(必修科目)

AI+IoT環境における組込みシステム開発演習Ⅰ(12時間)

AI+IoT環境における組込みシステム開発演習Ⅱ(12時間)

AI+IoT環境における組込みシステム開発演習Ⅲ(12時間)

修了要件

総授業時間60時間の授業を受講し、さらにプレゼンテーション試験に合格すること。

修了証明・資格授与

修了者には「履修証明書」を発行する。また、履修証明書の交付を受けたものには、「愛媛大学IoT+AI組込みシステムエキスパート」の認定資格を授与し、認定証を発行する。

開講スケジュール

令和2年度の時間割は表1に示す通りである。

表1 令和2年度のAI+IoT組込みシステムエキスパート養成講座の時間割

基礎	<p>11月28日(土) 11月29日(日) 1~4時間目 組込みシステム開発基礎</p> <p>12月5日(土) 12月6日(日) 1~4時間目 AI基礎</p> <p>12月12日(土) 12月13日(日) 1~4時間目 画像処理基礎</p> <p>※3科目(組込みシステム開発基礎、AI基礎、画像処理基礎)のうち1つ以上の科目を受講すること。</p>
グループ演習	<p>12月19日(土) 1~4時間目 グループ演習I 小集団活動：課題設定・要求仕様策定</p> <p>12月20日(日) 1~4時間目 グループ演習II AI+IoT環境における組込みシステム開発実習</p>
開発演習	<p>1月9日(土) 1月10日(日) 1~4時間目 AI+IoT環境における組込みシステム開発演習I</p> <p>2月6日(土) 2月7日(日) 1~4時間目 AI+IoT環境における組込みシステム開発演習II</p> <p>3月6日(土) 3月7日(日) 1~4時間目 AI+IoT環境における組込みシステム開発演習III</p>

※1~4時間目の時間帯は以下の通りである。

- 1時間目 9:00~10:30
- 2時間目 10:40~12:10
- 3時間目 13:00~14:30
- 4時間目 14:40~16:10

募集要項

募集人数

10名

受講申請資格

申請者は、四国内の産官の幅広い職種の社会人とし、次の①かつ②に該当する者に限定する。

- ① 大学卒業程度の学力を有する。
- ② 情報技術関連の実務経験を有する者、または、情報技術の導入に関わる管理者として実務経験を有する者。

受講料

20万円

受講申請手続

申請期間

令和2年9月14日（月）～令和2年10月30日（金）

提出の方法

持参する場合：電話連絡（問合せ先を参照）の後、平日9時から16時までの間に愛媛大学 enPiT Emb 事務局（愛媛大学工学部4号館5階507号室）に持参すること。

郵送する場合：必ず「簡易書留」にて、上記の申請期間内に「必着」で送付のこと。また、封筒の表面の左下隅に「申請書類在中」と朱書きすること。

提出書類

- ① 受講申請書（様式1、様式2）
- ② 写真2枚
 - ・申請3ヶ月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの縦3.0cm×横2.5cmのもの。
 - うち1枚は上記①に貼付し、もう1枚はそのまま提出（裏面に氏名を明記）。
- ③ 志望理由書（様式3）

<注意事項>

- ・申請手続後の提出書類の内容変更は認められません。
- ・いずれも、ワープロ（Word等）で記入してください（署名欄を除く）。

提出先

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 高橋 寛

受講決定の通知

愛媛大学において申請書類を審査し、受講の可否を決定します。受講の可否は、本人宛に郵送で通知するとともに、受講者については、受講案内、関係書類を送付します。

個人情報の取扱い

提出された申請書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、愛媛大学大学院理工学研究科が責任を持って管理します。

受講終了後は、この個人情報を利用することなく第三者に開示することはありません。

その他

学内の駐車場は利用できません。公共交通機関を利用してください。

問合せ先

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 高橋 寛
Tel : 089-927-9700 (代表) 内線 9996 (愛媛大学 enPiT Emb 事務局 薬師神)
E-mail : enpitemb@cs.ehime-u.ac.jp
ウェブサイト : <http://enpitemb.cs.ehime-u.ac.jp/>

【注】新型コロナウイルス感染予防への対処について

本講座は、以下の「対処方針」と「実施方法」により実施します。受講方式が遠隔授業等に変更となる場合もありますので、お申し込みにあたりご注意ください。

■ 対処方針

「愛媛大学新型コロナウイルス感染症に対する BCP」に準じて実施する。

■ 実施方法

- ・ 下記の BCP の規定ステージに応じて対面型授業または遠隔授業等により実施する。
- ・ 講座終了後の認定試験は、状況に応じてリモートによる試験方法等を検討する。

表 1 愛媛大学の規定ステージに応じた本講座の受講方式

(ハッチ部分は「愛媛大学新型コロナウイルス感染症に対する BCP」の規定)

ステージ※1	本講座の受講方式	BCP 規定による学生の授業等の実施方針	学内施設利用等
D レッド	中止	全ての学生の登校を禁止。 遠隔授業のみ実施。	全て禁止
レッド	中止	原則として、全ての学生の登校を禁止。 遠隔授業のみ実施。	全て禁止
オレンジ	中止	原則として、全ての学生の登校を禁止。 遠隔授業のみ実施。ただし、危機対策本部長 (学長) が認める特例的授業を除く。	原則禁止
イエロー	遠隔授業※2 対面型授業 (感染対策)	遠隔授業を積極的に実施。ただし、感染防御 対策を徹底しながら対面型授業も実施でき る。	許可実施 (対策本部長)
グリーン	遠隔授業※2 対面型授業 (感染対策)	感染防御に配慮しつつ、平常どおりに授業 を実施 (遠隔授業の場合あり)。	平常通り (感染防御配慮)
クリア	平常通り	なし	平常通り

※1 愛媛大学城北キャンパスのステージとする。

※2 遠隔授業・対面型授業(感染対策)の対応【イエロー、グリーンステージ】

遠隔授業または感染防御を徹底した対面型授業を実施する。

感染防御のため、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、
アルコール消毒、換気(窓の定期開放)等を行う。

講座関係者に感染者が発生した場合は、延期、又は中止とする。

■ 中止に伴う受講料の返金

- ・ 中止となった場合、受講費用は未実施分を返金する(振込料は受講者負担)。

(様式-1)

令和2年度 AI+IoT 組込みシステムエキスパート養成講座 受講申請書

フリガナ 氏名			写真を貼る 位置
生年月日	昭和/平成 年 月 日 (満 歳)		
現住所	〒 - 県	TEL - - 携帯 TEL - -	
	E-mail		
勤務先			
勤務先住所	〒 - 県	TEL - -	
最終学歴			
職歴			
保有資格			

受講する基礎科目を1つ以上選択してください(科目名に○)。

組込みシステム開発基礎 ・ AI 基礎 ・ 画像処理基礎

(様式-3)

令和2年度 AI+IoT 組込みシステムエキスパート養成講座 志望理由書

申請者名	
------	--

志望理由（申請者のこれまでの経験，現在抱えている課題，本養成講座に期待すること，自らの業務で目指したい姿等に基づいて記述してください）

(様式-1) (記入例)

令和2年度 AI+IoT 組込みシステムエキスパート養成講座 受講申請書

フリガナ 氏名	エヒメ タロウ 愛媛 太郎		写真を貼る 位置
生年月日	昭和/平成〇〇年〇〇月〇〇日 (満〇〇歳)		
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 TEL 000-000-0000 携帯 TEL 000-0000-0000 E-mail 〇〇〇〇@〇〇〇〇		
勤務先	株式会社〇〇		
勤務先住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町 TEL 000-000-0000		
最終学歴	平成〇〇年〇〇月	〇〇大学工学部情報工学科 卒業	
職歴	平成〇〇年〇〇月	株式会社〇〇 〇〇部 採用	
	平成〇〇年〇〇月	株式会社〇〇 〇〇部 〇〇課 (現職)	
保有資格	(例) 技術士	登録年月日 年 月 日 登録番号 No.	
	(例) 基本情報技術者試験	平成〇〇年〇〇月 基本情報処理技術者試験合格	

受講する基礎科目を1つ以上選択してください (科目名に○)。

組込みシステム開発基礎 ・ AI 基礎 ・ 画像処理基礎

(様式-2) (記入例)

氏名 愛媛 太郎

実務経歴（情報技術関連の実務経験、または、情報技術の導入に関わる管理者としての実務経験を記入）					
所属	部課名・役職	関係実務	勤務期間		備考 ※
株式会社〇〇 株式会社〇〇	〇〇部（テスト担当） 〇〇部（開発担当）	〇〇管理 〇〇開発	H00.00～H00.00 H00.00～H00.00	1年6ヶ月 2年	
			勤務期間のうち、重複期間は 合計に含みませんのでご注 意下さい		
			年月の合計期間をまちがえ ないように！！		
			↓		
			計 3 年 6 ヶ月		
上記の通り相違ないことを証明する。					
令和 年 月 日 申請者 印					
上記の者の受講を推薦する。					
令和 年 月 日 所属所長 印					

注1：※印のある枠内には何も記入しないで下さい。

注2：現在の所属機関での実務経歴について証明をもらってください。現在の所属機関以外での実務経歴については、別紙（様式自由、申請者本人の署名・捺印）を作成し提出してください。